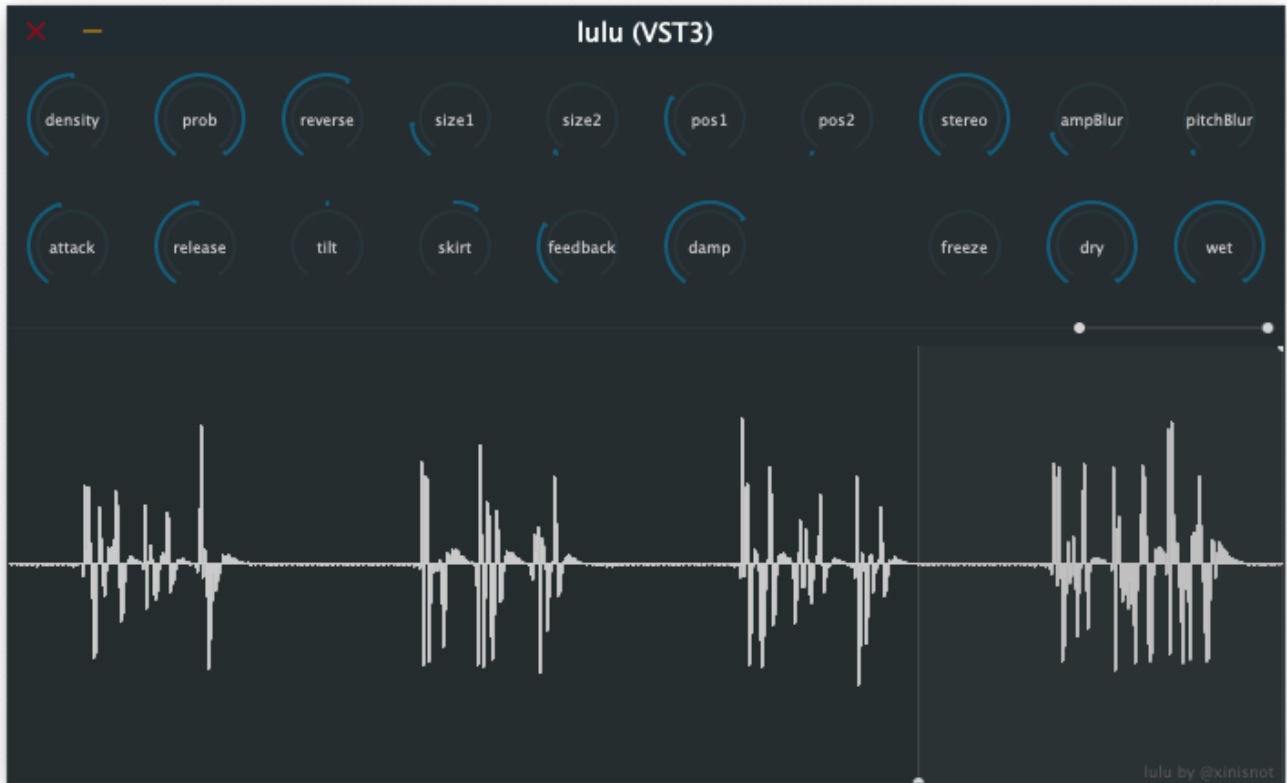


lulu

luluはMIDIで制御するライブグラニューラーエフェクトです。MIDIノートオンを受け取ると、5秒間のループ録音からグレインを生成します。MIDIノートナンバーに応じて、グレインをピッチシフトすることができます。



GUIについて

各ダイヤルをダブルクリックすると、ナンバーボックスが現れます。数値を直接入力することで、パラメータ値の微調整ができます。

下半分に位置する2つのレンジバーは、次のダイヤルと連動しています。

- size1, size2
- pos1, pos2

入力されたサウンドはオシロスコープに表示されます。注: 現バージョンではウィンドウを閉じるとオシロスコープの描画がリセットされますが、使用には問題ありません。

使い方

luluはオーディオエフェクトプラグインですが、音を鳴らすにはMIDIノートオンメッセージを受け取る必要があります。中央ドがグレインのピッチの基準であり、ピッチシフトが起こりません。

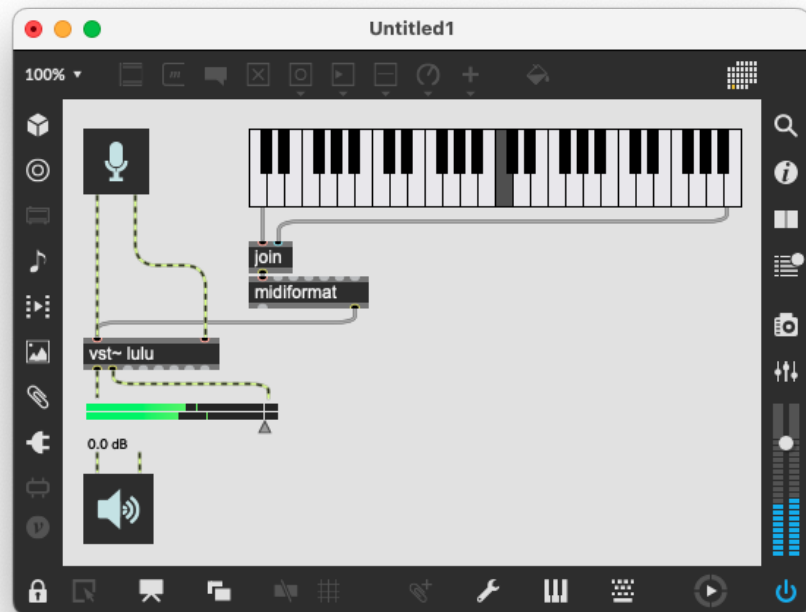
例. Apple Logic

MIDIトラックを作成し、MIDIリージョンに適切なノートを書きます。作成したトラックのインストゥルメントとして、「AU MIDI制御エフェクト」からluluを選びます。「サイドチェーン」に、エフェクトをかけたいトラックを選びます。



例. Cycling '74 Max

次のようなパッチを作ってください。



パラメータ

ダイヤルのタイトルと、オートメーションやマッピングに使用される実際のパラメータ名を併記します。

density

- `trigger/density`
- グ레인を生成するトリガーの周波数 (単位Hz)

prob

- `trigger/probability`
- トリガーが発せられる確率

reverse

- `cloud/reverse_prob`
- グ레인が逆再生される確率

size1, size2

- `cloud/grain_size1, cloud/grain_size2`
- グ레인の大きさ (単位msec)
- グ레인ごとに、2つの値の範囲でランダムイズ

pos1, pos2

- `cloud/position1`, `cloud/position2`
- グレインを生成する録音バッファの位置 (単位msec)
- グレインごとに、2つの値の範囲でランダムイズ

stereo

- `cloud/stereo_spread`
- ステレオスプレッド

ampBlur

- `cloud/amp_blur`
- グレインの振幅の偏差

pitchBlur

- `cloud/pitch_blur`
- グレインのピッチの偏差 (単位cent)

attack

- `envelope/attack`
- ノートオンのアタックタイム (単位msec)

release

- `envelope/release`
- ノートオフのリリースタイム (単位msec)

tilt

- `cloud/window_tilt`
- グレインの形状のシェイピング

skirt

- `cloud/window_skirt`
- グレインの形状のシェイピング

feedback

- `feedback/amount`
- フィードバック量 (単位dB)

damp

- `feedback/damp`
- フィードバックにかかるローパスフィルタ

freeze

- `record/freeze`
- ループ録音を一時停止

dry

- `mixer/dry`
- プリFX (単位dB)

wet

- `mixer/wet`
- ポストFX (単位dB)

制作者について

[xin](#)